

市政を問う 一般質問

※問と答の内容は、各議員本人が要約したものです。
※問の下の氏名は発言議員名です。

教 育

教育施設の老朽化

問 大築 学校の大規模改修計画の促進は。

答 大規模改修計画は耐震補強工事が終了後、必要に応じ、優先順位をつけて対応します。

学校の施設維持・保全は組織的な管理運営で

問 松尾 市の財政は窮している。学校の施設維持・保全には、小さな破損・故障のうち修理することが経済的である。組織的な管理運営を行なうべきでは。

答 学校長の通報に即応できる体制ができています。故障・破損は小さなうちに対応いたします。

元福小の外壁工事は

問 岩崎 元福小の外壁が、一部落下して危険防止の防護

ネットが張つてある。子どもの安全を守るため、緊急に外壁工事を実施すべきではないか。

答 現在、外壁や屋上防水工事の設計をして、来年度に工事を実施できるようにしたい。

福岡高校の統廃合への対応は

問 加藤 統廃合については、県からの説明がいつごろあったのか。また、当市の対応がとれているが、今後の対応については。

答 県から平成二十一年十月はじめに、前市長と前教育長が説明を受けました。議会から県知事に対して「統廃合中止を求める意見書」が出され、市では、平成二十一年十二月中に県教育委員会へ市長みずから「福岡高校存続の要望」を提出します。

市長が約束「福岡高統廃合問題で県に要請」

問 足立 経済的理由による高校中退の例もあり、公立高校は重要。教育権を保障する点から、市長は福岡高校と大井高校の統廃合中止の立場に立つてほしい。

答 議会終了後、県教育委員会に要請に行きます。

外国人児童・生徒への日本語指導の現状は

問 飯沼 親の都合などで、日本に来日する外国人児童・生徒は、基本的には日本での就学義務がなく困難を抱えることも多いと考える。ふじみ野市の小・中学校における日本語指導の現状と、平成二十二年度に向けた方針は。

答 日本語指導の必要な外国人児童・生徒が年々増えており、その指導の重要性は深く理解しております。
平成二十二年度は、日本語習得と同時に、日本の生活環



ふじみの国際交流センターでの学習風景

境になじめるようにすることも視野においた日本語適応指導を中心にしてまいります。

学級閉鎖の基準と冬休み短縮予定は

問 田村 新型インフルエンザによる学級閉鎖の基準

と、授業不足を補う冬休み短縮予定は。

答 平成二十一年十二月現在、二四％の罹患率で二、三、四、五、四名です。同じ日に同一学級で三名以上発生したとき、閉鎖となります。冬休みを短縮する予定はありません。

福 祉

発達障がい相談支援センターの広域設置を

問 堀口 発達障がいにつ

いて、一生を通し、安心して支援体制「発達障がい相談支援センター」の設置が望まれる。広域での設置が可能な